

## 鹿児島県内における山岳遭難の発生状況（平成31年・令和元年～令和5年）

年	発生件数 (件)	遭難者数（人）				
		死者	行方不明者	負傷者	無事救出	
<b>R5</b>	<b>41</b>	<b>47</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>20</b>	<b>22</b>
R4	26	27	2	0	12	13
R3	32	34	2	0	17	15
R2	33	35	3	0	14	18
H31 R1	18	18	1	0	8	9

### 【令和5年の発生状況】

遭難者総数47人中

○ 場所別では

霧島山系が15人で最多、次いで屋久島山系が13人、開聞岳が10人、その他の山岳が9人

○ 態様別では

道迷いが17人で最多、次いで転倒が10人、疲労が6人、このほか転落、病気など

○ 年齢層別では

70代が10人で最多、次いで60代が9人、20代・50代が各7人、40代が6人、10代・30代が各3人、10歳未満・80代が各1人

50歳以上が27人で全体の約6割を占め、また、60歳以上は20人で全体の約4割となっています。